

# 小学校クラブ活動における花育～お茶・お花クラブ～

作成者：東京都花き振興協議会

株式会社フラワーオークションジャパン 村松 得至

## ■ 実施主体

名称：東京都花き振興協議会

担当窓口：事務局 府中 保子

所在地：東京都大田区東海2-2-1

株式会社大田花き内

## ■ 団体等構成

花き卸売会社、仲卸業者、花き小売店、  
関連事業者

## ■ 取組地域

東京都国分寺市  
国分寺市立第四小学校



## ■ 概要

東京都国分寺市立第四小学校の授業終了後のクラブ活動（お茶・お花クラブ）で花育（フラワーアレンジメントの制作）を実施。フラワーアレンジメントの体験を通して、花に親しむ機会を作り、花を愛でることによって、精神的な成長を促進し、将来の花き愛好者を育てる。

小学校における花育は、将来の花き愛好者を育てるために大変重要であり、協議会として積極的に取り組みを行っている。

## ■ 取組開始時期・経緯

平成25年度より幼稚園、小学校の授業において、花壇作りの花育を実施してきたが、国分寺市内の小学校からクラブ活動での花育（フラワーアレンジメントの制作）の要望があり、協議会として対応することとなった。

## ■ 目的（目標）

幼少期に、花や植物の美しさを体験してもらうことで、花に関心や興味を持ち素晴らしさを知ってもらう。小さい頃から花にふれることで、精神的な成長を促し、花を身近なものと感じることで、将来の花の消費に繋がることも期待する。

子供たちが、花に関わる体験を通して、命の大切さを学び、心の教育につなげる。

【取り組み内容】

- 対象者・人数：お茶・お花クラブ 35名
- 教 科：クラブ活動
- 所要時間：60分
- 対象場所：国分寺市立第四小学校 室内
- 指導者：講師1名

- 用具：・ペットボトルで作った花瓶  
・ハサミ

- 花材：季節の花を使用（花を3～4本、葉を1本選ぶ）
  - ・スプレーバラ
  - ・スプレーカーネーション
  - ・スイートピー
  - ・ガーベラ
  - ・スターチス
  - ・レザーファン など

■ 活動内容（指導内容）

1. 花の流通について

①花の市場の話

「お店の花はどこから来るんだろう？」

※右図：参考資料

②市場のしくみについて

全国の花農家の花は、トラックで市場に運ばれてくる。

外国の花も船や飛行機で運ばれてくる。

③小売業（お花屋さん）

市場で買い付けた花や植物は、それぞれのお店に運ばれていく。

（花屋、スーパー、コンビニ、園芸店、ガーデンセンター、ホームセンターなど）



ペットボトルで作った花瓶



季節の花を用意する



説明資料：「花や緑友達になろう」抜粋

## 2. 切り花について

### ①花の名前を覚える

- ・指導者がホワイトボードに花の名前を書き花の特徴を説明する。

### ②花の香りを楽しむ

- ・自分の好きな香りを見つけたり、花の香を調べてもらう。

### ③切り花の扱い方を学ぶ

- ・ハサミの使い方や花の切り方を説明する。



花の名前を書いて説明する

## 3. フラワーアレンジメントの制作

### ①実際にペットボトル製の花瓶に切り花を生けてもらう。

- ・事前にペットボトルで花瓶を作成。
- ・ハサミの扱いに注意して生徒たちに自由に生けてもらう。

### ②花の特性を学ぶ

- ・使用する花の咲く時期や特徴などを説明する。



デザインを考えながら生けていく

## 4. 手入れ方法について

### ①毎日、花瓶の水を取り替える。

花瓶の水を放置しておくと雑菌が増えて、花を弱らせて腐る原因となる。

水は毎日、新鮮なきれいなものに取り替えることを教える。

### ②水を替えるときに、ハサミで茎先を斜めに切ると良い。

茎の導管\*が詰まると、吸水が出来なくなり花が枯れるので毎回切り口を少し切ると良い。

水の中で茎を切ることを水揚げという。

※導管（どうかん）とは、茎の中にある水分を吸いあげる管

### ③花が長持ちする環境とは

- ・直射日光が当たらない、気温の低い場所。
- ・エアコンなどの風が当たらない場所。

## ■ 指導のポイント

1. 花の名前を覚える。
2. それぞれの花の特性を理解する。
3. 花の手入れ方法を学ぶ。
4. 切った花も生きているなど命の大切さを学ぶ。



ピンク色の花でアレンジメント

### ■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

1. 花の特性の説明をすることで、花に対する理解や関心を深める。
2. 花は姿・形だけでなく、香りも楽しんでもらうものであることを体験してもらう。
3. フラワーアレンジメントの技能の習得ではなく、気軽に花に触れる機会を作り親しむ気持ちを育てる。

### ■ 経費

生徒1人当たり 700円（税込み）の予算で切り花、葉物を購入した。

### ■ これまでの成果

1. 多くの生徒に、花に対して親しみや関心を持ってもらうことができた。
2. 花は姿・形を見るだけでなく、香りをかいたり、人にプレゼントをしたり、さまざまな楽しみ方があることを知ってもらえた。

### ■ 参加者からの感想（生徒、保護者）

1. 楽しく花に親しむことができた。（生徒）
2. クラブ活動でアレンジメント制作を行うことで、花の扱い方を学ぶことができた。（生徒）
3. 花の手入れ方法を知ること、長い期間花を楽しむことができることを知った。（生徒）
4. 「生活の中に花がある」環境を体験できる花育は、花に親しむことができる有難い取り組みだ。（保護者）

### ■ 今後の課題やその改善方法

1. 今回はペットボトル製の花瓶を使用した。活動後も家に持ち帰り繰り返し使用できる安価な花瓶が用意できると良い。  
ペットボトルの花瓶は、花育のきっかけ作りには良いが捨てられてしまう可能性がある。
2. 使用する道具（ハサミなど）は、使い慣れたものを学校側で準備してもらい資材（ペットボトル）は、時間短縮の為に事前に人数分を集めて花瓶に加工しておいてもらう必要がある。
3. 花育は継続的に実施することが重要であり、そのための予算の確保が必要である。
4. 予算等の問題を解決するには、すべての小学校で教育カリキュラムに花育を導入されることが望ましい。



フラワーアレンジメントが出来上がった



出来上がった作品をみんなで観賞する